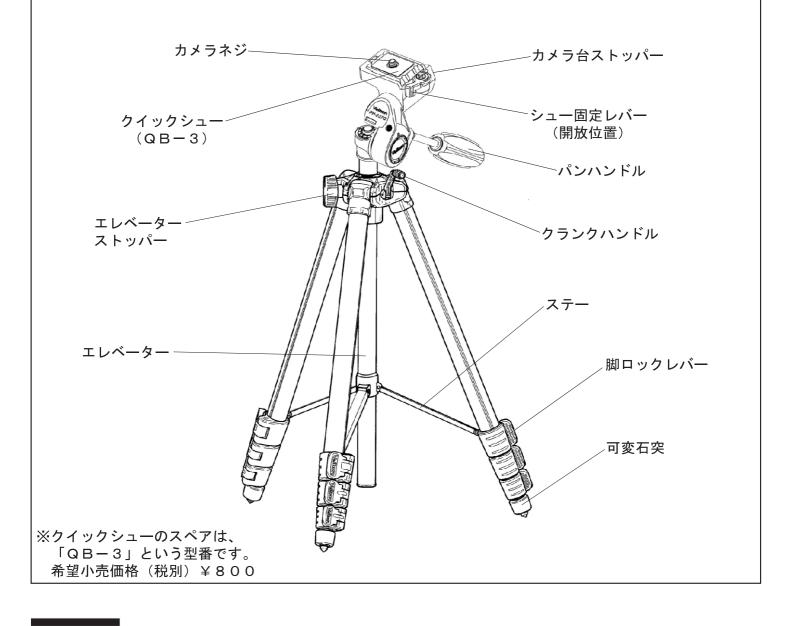
各部の名称

このたびは、ベルボン三脚をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。 ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

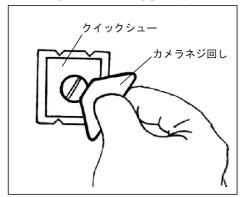


	MAX-i 347GB
雲 台	PH-237Q
全 高	161cm
エレヘ゛ータースライト゛	31.6cm
最 低 高	4 4 c m (ローポジションの機能はありません)
縮長	42.7cm
質 量	1. 2 k g
脚パイプ径	20 · 17.2 · 14.4 · 11.6mm
段 数	4段
付 属 品	専用ケース、カメラネジ回し

★ MAX-i 347GB は・・・・

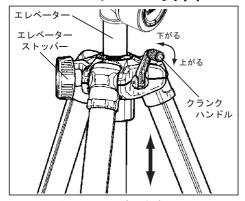
脚パイプには新開発の「トラニアンシャフトシステム」を採用し、 驚異的な伸縮率を実現!また雲台には「左右両サイド ティルト」方式を用い、左右方向へそれぞれ90度カメラを 傾けることが出来るようになりました。旅行にも持って行 ける小さなサイズ、アイレベルにも届く十分な高さ、 まさに「小さく持って大きく使う」理想の 三脚となりました。

カメラの取り付け方



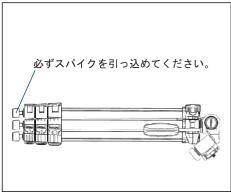
カメラのネジ穴とクイックシューのカメ ラネジを合わせ、付属のカメラネジ回し でしっかりと締め付けます。カメラネジ 回しをなくしてしまった場合はコイン等 で代用してください。

-の昇降 タ-



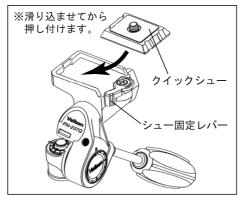
エレベーターストッパーをゆるめ、クラン クハンドルを回すとエレベーターの昇降が できます。必要な高さでエレベータースト ッパーを締めて固定します(必ず機材を手 で持ちながら操作してください)。

収納方法



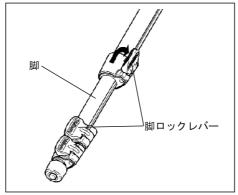
三脚を携帯する時や収納する時は、上図の 様に折りたたんで下さい。特に可変石突の スパイクは、危険ですので必ず引っ込めて 持ち運びしてください。

クイックシュ・



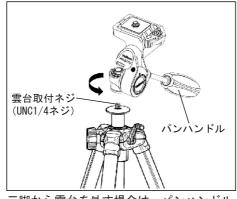
シュー固定レバーを開放位置にした状態で、 クイックシューをレバー側から斜めに滑らせ るように取り付け、下に押し付けると半自動 固定されます。後は手動でレバーをしっかり と締めてください。外すときは逆の手順を行 ってください。

脚の伸縮



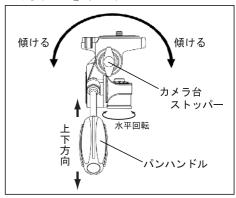
脚の伸縮は、脚ロックレバーを起こして脚 を引き出し、必要な長さで脚ロックレバー を閉じて固定します。脚を全段引き伸ばさ ないで使用する場合は、できるだけ上段の 太い脚を使ってご使用ください。

雲台の外し方



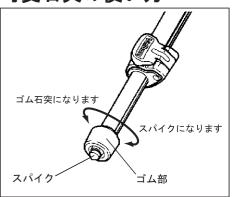
三脚から雲台を外す場合は、パンハンドル をしっかり締めた状態で雲台全体を左回し に回すと外れます(矢印方向)。他の雲台 を取り付ける事が可能です(雲台取付ネジ はUNC1/4です)。

雲台の使い方



パンハンドルを回してゆるめると、カメラの 上下方向が変えられると同時に、水平方向へ 回転させることができます。カメラ台ストッ パーをゆるめると、左右両方向へカメラを傾 けることができます。必要な位置で固定して シャッターをきります。

可変石突の使い方



脚先端の石突は、ゴム⇔スパイクの変換が 可能です。スパイクを使わない時は、ゴム 部を左に回してスパイクを引っ込めます。 スパイクを使うときは、ゴム部を右に回し てスパイクを出します。室内で撮影される ときは、床面にキズをつけない様にご注意 ください。

お手入れについて

- ご使用後は、必ず湿った布で汚れを拭きとった後に、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に海岸および温泉地でのご使用後は、そのままの状態で放置すると錆びや故障の原因となります。
 脚パイブに水や砂がついたまま脚をたたむと、重なった脚パイプの隙間に詰まってしまい、伸縮が固くなったりできなくなったりする恐れがありますのでご注意ください。
 清掃の際はシンナー等の薬品は使わないで下さい。

アフターサービス

●修理または部品を紛失した場合は、販売店か弊社サービス部へ直接お問い合わせください。本製品の性能部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しております。※この期間後であっても修理可能な場合もあります。

ベルボン お客様ご相談センター 0551-25-6155

製造 販売 ベルボン株式会社





ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するため、 必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

▲ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

△ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性・または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

My

MI

△ 警告





スパイク付石突を 備えた三脚を持ち

順なに三脚を持ち 運びするときは、安全のためスパイク を出さないでください。死亡や大ケガ の原因となります。



脚を開閉するときは、 十分に注意してくだ さい。あやまって指

をはさむとケガにつながります。慌て ずによく確かめて操作してください。





三脚にカメラを装着した ままでの移動は、お避け ください。予想以上のカ が加わった場合、カメラ が落下する恐れがありま



MM

0

三脚の自重の2倍を超えるカメラの使用は、安定性を 損ないますのでお避けください。



カメラブレの原因となったり、三脚が 転倒する恐れがあります



カメラを載せたまま脚の伸縮調整や雲台の操作をするときは、カメラ本体を必ず手でさえながら行ってください。 三脚やカメラが不意に

動き、カメラを破損したり手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。



ぐらついた台の上や 傾斜面など、不安定 な場所で使用する場 合は十分に注意して ください。特に高位 置での使用の場合、

頭や足の上などに落下すると、死亡や 大ケガにつながる恐れがあります。



各々のネジや固定 レバーは、必要な とき以外は確実に 固定してご使用く ださい。ネジや固

定レバーがゆるんでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。



三脚や雲台各部へのオイル・グリス等 の補給はしないでください。



- ●小さなお子様の手の届く所には、設置・保管しないで下さい。手をはさんだり倒れたりして、ケガをする恐れがあります。
- ●三脚は、金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので通電します。 電気の側や高圧線の近くでの使用は避けてください。また、落雷の恐れが ある場合は絶対に使用しないでください。
- ●三脚の上には絶対に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒し死亡や 大ケガにつながります。
- ●寒冷地でご使用される場合は金属部が凍結する恐れがありますので、素手で操作しないでください。



- ◆カメラを取り付けた状態で、不安定な場所に放置したり立てかけたりしないでください。転倒の恐れがあります
- ●夏季など高温になる自動車内等には放置しないでください。オイル漏れや故障 の原因となります。
- ●寒冷地でご使用される場合は十分な性能が発揮されない場合があります。 特にビデオ用オイルフリュード雲台では、パン・ティルトの動作が重くなった り動かなくなることがあります。
- ●三脚を携帯するときは、部品の脱落防止のため各々のネジ等を、しっかり締め つけて持ち運びしてください。
- ●写真機、ビデオ、望遠鏡等での撮影・観察以外の目的で使用しないでください。